



確かな学力の向上をめざして【10月】

■国語科の授業づくり

令和4年度の全国学力・学習状況調査結果によると、中部地区においては、小学校、中学校ともに国語科の課題が大きい状況でした。

【小学校】

	国語	算数	理科
中部	62	61	61
全国	65.6	63.2	63.3

【中学校】

	国語	数学	理科
中部	66	50	48
全国	69.0	51.4	49.3

国語科は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目標としています。単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることが大切です。

県教育委員会では、国語科の授業づくりに役立ていただけるよう、参考資料「新学習指導要領の趣旨を踏まえた国語の授業づくり」を作成しています。授業づくりのポイントの確認、授業改善に御活用ください。

新学習指導要領の趣旨を踏まえた国語の授業づくり

国語科は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目標としています。単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることが大切です。「とっどりの授業改革【10の視点】」と関連付け、国語の授業をより良くつくっていきましょう。

① 育成すべき資質・能力の明確化

- ・学習指導要領を手がかりに、単元を通して育成すべき資質・能力を明確に捉える
- ・育成すべき資質・能力を意識して、単元全体の学習過程を構成する
- ・資質・能力の系統を把握し、前後の学年、他教科とのつながりを踏まえて指導する

② 言語活動を明確に位置付けた単元の構成

- ・言語活動の目的（ゴール）と見通し（プロセス）を子どもたちと共有する
- ・言語活動のモデルをつくって子どもたちに示す（構成、文字制限、音声等）
- ・言語活動をめぐって多面的な見方・考え方を共有できる対話を取り入れる

③ 適切な評価規準と評価方法の設定

- ・目標に対する評価規準と評価方法を明確にし、子どもの学習状況を計画的に見取り、記録に取る
- ・子どもたちの学びの状況を想定し、全員が「おおむね満足できる状況」に達成できるための手立てを講じる
- ・子どもたちが学びを自覚し、次の時間や単元につながる振り返りの充実を図る

作成：県教育委員会 監修：大妻女子大学 榊山敏郎 教授

Point

指導事項を確認し、指導すべき内容を**焦点化**しましょう。

- * 学習指導要領「各学年の目標及び内容」2内容に記載してある指導事項を確認し、教科書教材を使って本単元で指導する内容は何かを明確にします。
- * 教科書教材と指導事項の関連を表にした資料（教科書会社作成）を使うと便利です。
- * 1つの単元で「言語事項」、「話す・聞く」、「書く」、「読む」を全部指導する必要はありません。指導事項が明確になれば、その単元で指導すべきことが焦点化できます。

.....

「子どもたちが力をつける！」
小学校国語科の
授業づくり研修会

国語の授業づくりに悩んでおられる先生、国語に特に力を入れてみたいと考えておられる先生、基礎から学び直してみたい先生に、県教育委員会が企画する研修会を御案内します。ぜひ、御活用ください。

回	開催日	内容
1	10/11 (火)	【基本編①】国語科で育成すべき資質・能力について
2	10/18 (火)	【基本編②】単元づくりと言語活動について
3	10/27 (木)	【基本編③】ゴールイメージを明確にした授業づくりと評価について
4	11/4 (金)	【応用編】活用力を磨く授業づくりと質問に対する回答



- * 時間はいずれも16時～16時45分と、短時間の設定です！
- * オンライン研修なので、所属校にいながら参加できます！
- * 基本編は特に経験が浅い先生にお勧め！
- * 中学校の先生も参加できます！
- * 詳細は令和4年9月20日付第202200144387号で確認を！